

Overview: エゼキエル書は人性に満ちた書です(I)。それは、この書の主題が、神と彼の選びの民とのミングリングとしての神の住まいの建造であり、建造の主要な材料はイエスの引き上げられ、神性によって豊かにされた人性であるからです(II、III)。

I. エゼキエル書は、人性に満ちている書です:

A. エゼキエル書において「人の子」という用語は、九十回以上用いられています。これは、神がどれほど人を得ることを願っているかを示しています。

B. 聖なる宮の各部分を描写するのに用いられている六という数は、第六日に創造された人を表徴しています。

C. 御座の上にいる方が人のように見え、しかも彼にはエホバの栄光の外観があることが示しているのは、御座の上に座している方が神であり人でもあるということです:

1. この方は、神・人であるイエス・キリスト、すなわち神と人とのミングリングです。
2. 彼は神全体であって、肉体と成って人と成りました。
3. 彼は人の性質を持っているので、人として生き、死に、復活し、昇天しました。そして、彼は今や御座の上の方として、なおも人の子です。

4. 主イエスの昇天以来、御座の上には人がいます。千年期、また新天新地において、御座の上にはなおも人がいます。

D. 一つの実体として見なされている四つの生き物は、御座の上の人の団体的な表現です。それが示しているのは、神の中心思想と案配が人と関係があるということです。

II. 人の子は、神の家の建造のためです:

A. キリストは彼の肉体と成ることにおいて、人の子です:

1. 神聖な面において、主イエスは神の御子です。人の面において、彼は人の子です。
2. 神の定められた御旨を完成するために、キリストが人と成る必要がありました。人がいなければ、神の定められた御旨は地上で遂行されることができません。

B. 主イエスは神・人と成りましたが、人・神、すなわち、人性の中にある神、人の子である神とも成りました。

C. 神の御子は命のためであり、人の子は建造のためです:

1. もし彼が人の子でなかったなら、神の建造の本質であることはできませんでした。
2. 地上で人の間に神の住まいを建造するために、彼は人の子です。神の建造は彼の人性を必要とします。
3. 私たちは神の御子の中へと信じることによって永遠の命を受けた後、神の御子であるこのイエスが、人の子でもあることを認識する必要があります。彼の神性は私たちにとって命ですが、彼の人性は神の建造のためです。

D. 「天が開け、神の御使いたちが人の子の上を上り下りするのを、あなたがたは見るであろう(ヨハネ1:51)」:

1. これは、創世記第28章11節から22節のヤコブの夢の成就です。
2. キリストは人の子であり、人性を伴って、神の家(ベテル)のために地上に立って天に達しているはしごであって、天を地に対して開き続けさせ、地を天に結び付けています。
3. キリストが彼の人性の中にいるときはいつでも、天の門があり、またベテル、すなわち、造り変えられた人たちをもって建造された神の家があります。

III. 神の建造のために、私たちはイエスの人性を必要とします:

A. イエスの人性は、復活の中にある彼の人の命です:

1. 四福音書における、イエスについての主要なビジョンは、彼が復活の中で人の生活をしたということです。
2. イエスは彼の人性の中で生活しましたが、彼の人の命を生きませんでした。むしろ、彼が生きたのは復活の中にある人性でした。

B. エゼキエル書において啓示されている神の聖なる建造における木は、イエスの引き上げられ、神性によって豊かにされた人性を表徴しています。

C. 私たちは神の建造のために、私たちの天然の人性によってではなく、イエスの人性によって人間的である必要があります:

1. 私たちは人として創造されましたが、墮落によって腐敗させられ、毒され、破壊されました。ですから、私たちは主の贖いを必要とします:
 - a. 私たちはキリストの贖いを通して、正しい人性、すなわち、引き上げられ、復活させられた人性へと戻されます:
 - (1) キリストが十字架で終結させたものは、私たちの古い人、墮落した人性でしたが、神の創造した人性は復活させられる必要がありました。
 - (2) キリストの復活の中で、神は創造し贖われた私たちの人性を再生し、神聖な要素は再生された人性を引き上げました。
 - (3) 私たちは再生されて新しい人となった後も、依然として私たちの人性を持っていますが、それは復活させられ再生された人性です。
 - b. 今私たちが神の建造のために持っている人性は、イエスの引き上げられ復活させられた人性です。
2. 私たちは霊的になればなるほど、ますます人間的になります。私たちはキリストを命として持てば持つほど、ますますイエスの人性を持つようになります。

D. 神の建造のために、私たちは最も人間的な人々、すなわち、イエスのような人性を持つ人たちである必要があります:

1. 私たちは最高の人の生活、すなわち、神によって私たちに与えられた永遠の命にしたがって生かし出された生活を持つ必要があります。
2. 主イエスは彼の復活と昇天の間の四十日間において、彼の弟子たちを訓練して、神聖で人性を持つ生活をさせました:
 - a. 主イエスは彼らを訓練して、彼ご自身が彼らとなったことと、彼ご自身が彼らの中へと入ったことと、彼が彼らをご自身の中へともたらしたことを知らせました。
 - b. このような訓練は、弟子たちを助けて、彼らが三一の神とミングリングされていたことと、彼らがもはや人性を持っているだけでなく、神性を伴う人性を持っており、さらにはイエスのような人性を持っていたことを認識させました。
 - c. 彼らはもはや単に人であるだけでなく、神・人、すなわち、神聖な人であり、三一の神を彼らの内在的な本質として持ち、彼らの神聖な存在とならせました。
 - d. 彼らは今や、手順を経て究極的に完成された三一の神と一になった生活をすることができました。

E. 神の建造のためにイエスの人性を持つためには、私たちはイエスの霊を経験する必要があります:

1. 「イエスの霊」は、神の霊に関する特別な表現であり、肉体と成った救い主の霊を指しています。このような救い主は人性の中にいるイエスであり、人の生活と十字架上の死を経過しました。
2. イエスの霊の中には、神の神聖な要素があるだけでなく、イエスの人の要素と彼の人の生活の要素と彼の死の苦難の要素もあります。
3. イエスの引き上げられ、復活させられた人の性質は、イエスの霊の中にあります。
4. その霊の一を保つために要求されている、謙虚、柔和、辛抱強さという美德は、イエスの霊の中に含まれています。
5. 神性の中で神のひとり子であったキリストは、復活において、彼の人性の中で神から生まれ、神の長子となりました:
 - a. 彼の人性は「息子化されて」、神聖なものとなされました。この復活の中の「息子化」は、キリストが肉体と成った時に着た彼の人性を聖別し、引き上げ、造り変えました。
 - b. 今やこのような引き上げられた人性は、イエスの霊の中にあり、私たちの経験となることができます。それは私たちが神の建造のために、イエスのような人となって、イエスの人性を持つためです。

I. エゼキエル書は、人性に満ちている書です:

エゼキエル40:3 彼が私をそこへ連れて行かれると、見よ、そこに一人の人がいた。その外観は青銅の外観のようであり、彼の手に麻の縄と測りざおを持って城門に立っていた。

5 見よ、家の外側の周囲に壁があり、その人の手に長さ六キュビトの測りざおがあつて、このキュビトはそれぞれ一キュビトと一トファであつた。彼がその建築物の厚さを測ると、一さおであり、その高さも一さおであつた。

8 彼が家に向かう城門の廊を測ると、一さおであつた。

41:16 敷居、格子窓、三階になった敷居に面した取り巻く脇間の回廊は、地面から窓まで、木の羽目板が張り巡らされており(窓には格子があつた)、

43:2 すると、見よ、イスラエルの神の栄光が、東の道から来た。彼の声は多くの水の音のようであり、地は彼の栄光で輝いた。

6 ある人が家から私に語るのを私は聞いた。すると一人の人が私のそばに立つた。

1:26 また、彼らの頭の上にある大空の上に御座のようなものがあり、サファイア石の外観のようであつた。そして御座のようなものの上に、人のような外観の方がその上におられた。

28 その周り全体にある輝きの外観は、雨の日の雲の中にある虹の外観のようであつた。これはエホバの栄光の姿の外観であつた。(第一日)

1:5 また、その真ん中から四つの生き物の姿が出て来た。それはこのような外観であつた。彼らは人の姿を持っていた。

43:6 ある人が家から私に語るのを私は聞いた。すると一人の人が私のそばに立つた。(第二日)

創1:26 それから、神は言われた、「われわれのかたちに、われわれの姿にしたがつて、人を造ろう。そして彼らに、海の魚と空の鳥と家畜と全地と地を這うすべての這うものを治めさせよう」。

詩8:4 死ぬべき人は何者なので、あなたは彼を覚えられ、また人の子は何者なので、あなたは彼を訪れられるのですか? 5 あなたは彼を、御使いたちより少し低いものとし、彼に栄光と誉れを冠として与えられました。6 そして、あなたは彼にあなたの御手のわざを治めさせ、万物を彼の足の下に置かれました。7 すべての羊と牛、また野の獣、8 天の鳥と海の魚、海路を通うすべてのものを。

II. 人の子は、神の家の建造のためです:

ヨハネ1:51 そして彼は言われた、「まことに、まことに、私はあなたがたに言う。天が開け、神の御使いたちが人の子の上を上り下りするのを、あなたがたは見るであろう」。(第三日)

エゼキエル1:26 また、彼らの頭の上にある大空の上に御座のようなものがあり、サファイア石の外観のようであつた。そして御座のようなものの上に、人のような外観の方がその上におられた。

40:3 彼が私をそこへ連れて行かれると、見よ、そこに一人の人がいた。その外観は青銅の外観のようであり、彼の手に麻の縄と測りざおを持って城門に立っていた。

創28:11 彼はある所に来ると、太陽が沈んだので、そこで夜を過ごすことにした。彼はその所の石を取つて、それを頭の下に置き、その所で横になった。12 彼は夢を見た。見よ、一つのはしごが地上に立っており、その頂は天に達していた。すると見よ、神の御使いたちが、その上を上り下りしていた。13 そして、見よ、エホバがその

上に立っておられた。彼は言われた、「私はエホバ、あなたの父アブラハムの神、イサクの神である。あなたが横になっているこの地を、私はあなたとあなたの子孫に与える。14 あなたの子孫は地のちりのようになり、あなたは西に、東に、北に、南に広がり、あなたの中で、またあなたの子孫の中で、地のすべての家族は祝福される。15 見よ、私はあなたと共にいて、あなたがどこへ行ってもあなたを守り、あなたをこの地に連れ戻す。私があなたに約束したことを成し遂げるまでは、私はあなたを見捨てない」。16 ヤコブは眠りから覚めて言った、「まことにエホバがこの所におられるのに、私は知らなかった」。17 彼は恐れて言った、「これは何と畏れ多い所だろう! これはまさしく神の家である。これは天の門だ」。18 ヤコブは朝早く起きて、頭の下に置いていた石を取り、それを柱として立て、その頂に油を注いだ。19 彼はその場所の名をベテルと呼んだ。しかし、その町の名は、以前はルズであつた。20 それから、ヤコブは誓願を立てて言った、「神がもし私と共におられ、私が行くこの道で私を守り、食べるパンと着る衣を賜わり、21 平安の中で父の家に帰らせてくださるなら、その時エホバが私の神となり、22 私は柱として立てたこの石を、神の家とします。そして、あなたが私に賜わるすべての物の中から、私は必ず十分の一をあなたにささげます」。

III. 神の建造のために、私たちはイエスの人性を必要とします:

ピリピ2:8 人としての有り様で見いだされ、ご自身を低くして、死にまでも、しかも十字架の死に至るまでも従順になられました。(第三日)

テトス2:14 彼がご自身を私たちのためにささげられたのは、私たちをすべての不法から贖うためであり、そして彼ご自身へときよめて、特別な民とならせ、彼の特有な所有として、良いわざに熱心にならせるためです。

エペソ4:24 また、あの実際の義と聖の中で、神にしたがつて創造された、新しい人を着たのです。(第四日)

Ⅱコリント4:10 絶えずこの体に、イエスの致死力が働いています。それはまた、イエスの命が、私たちの体に現されるためです。11 なぜなら、私たち生きている者はイエスのために、絶えず死に渡されているからであり、それはイエスの命が、私たちの死ぬべき肉体に現されるためです。(第五日)

使徒16:7 彼らがムシヤに来た時、ビテニヤに入つて行こうとしたが、イエスの霊が彼らを許さなかつた。

ローマ1:4 聖別の霊によれば、死人の復活から、力の中で神の御子と明示された私たちの主イエス・キリストです。(第六日)

エペソ2:5 私たちが違犯の中で死んでいた時、私たちをキリストと共に生かし(あなたがたが救われたのは、恵みによるのです)、6 キリスト・イエスの中で、私たちを彼と共に復活させ、彼と共に天上で座らせてくださいました。

21 その方の中で、建物全体が共に組み合わされ、主の中にある聖なる宮へと成長していき、22 その方の中で、あなたがたもまた共に建造されて、霊の中にある神の住まいへと至るのです。

3:14 こういうわけで、私は御父に向かってひざをかがめて祈ります。15 この方から、天と地にあるすべての家族は名づけられています。16 どうか御父が、彼の栄光の豊富にしたがい、力をもって、彼の霊を通して、あなたがたを内なる人の中へと増強していただきますように。17 またキリストが、信仰を通してあなたがたの心の中に、ご自身のホームを造ることができるよう。またあなたがたが、愛の中に根ざし土台づけられ、

経験①:「古い私」を十字架に付け、復活の中で「新しい私」を生きる

イエスの人性は、復活の中にある彼の人の命です。私たちは出て行って人々と接触するとき、復活の中で人の命を生きる人でなければなりません。ヨハネによる福音書第11章25節で主はマルタに、「私は復活であり」と言われました。マルタは、主がもしもっと早く来てくださったなら、自分の兄弟は死ななかつたのにと不平を言いました。しかし主は、復活は時間の事柄ではなく、彼のパースンの事柄であることを啓示されました。なぜなら、彼が復活であるからです。

四福音書、特にマタイ、マルコ、ルカの共観福音書におけるイエスについての主要なビジョンは、彼が復活の中で人の生活をしたことです。イエスは天然の命を生きた人ではありませんでした。彼は常に彼の人性をわきへ置かれられました。彼は彼の人性の中にいましたが、彼の人の命を生きられませんでした。毎日、イエスは地上にいた間、肉体の中にありましたが、その肉体は復活の中にありました。一見すると、彼はナザレ人であり、生まれつきガリラヤ人でした。彼はそのような肉体の中にありました。しかし、彼の生活は復活の中にある人性の中にありました。

エゼキエル書第41章で、宮に関する建物のすべての部分は、木の羽目板が張り巡らされていました。これはモーセが立てた幕屋とは異なります。幕屋では、あらゆる部分は金で覆われていました。金は神性を表徴しますが、木は人性を、特に主イエスの引き上げられた人性を表徴します。エゼキエル書において、神の建造の主要な材料は、十字架につけられ、復活し、昇天したイエスの人性です。

中高生編

主イエスは地上で生活しておられたとき、いつも自分の天然の命を否み、御父の命を生きられました。これは十字架を経過して復活の中で生きていたということです。

ガラテヤ2:20 私はキリストと共に十字架につけられました。生きているのはもはや私ではありません。キリストが私の中に生きておられるのです。そして私は今、肉体の中で生きているその命を、私を愛し、私のためにご自身を捨ててくださった神の御子の信仰の中で生きます。21 私は神の恵みを無にしません。

ガラテヤ2章20節の最初とその次の「私」は、「古い私」、「神の命を持たない私」ですが、三番目以降の「私」は、「新しい私」、「キリストが内住し、神の命を持つ私」です。あなたは中高生の時から少しずつ自分の天然の命、すなわち「古い私」を十字架につけて否み、「新しい私」を生きることを学んでください。なぜなら神の御心は、キリストをあなたの内側に住まわせることだからです。このようなキリストを内住させる人性が、神の建造の主要な材料であるのです。

「古い私」は個人主義を伴い、変なことにこだわったり、あまり重要でないことをくよくよと考え続けたり、やるべき事から逃避したり、やるべきでないことをやり続けたりします。「古い私」は罪深い私を含んでいますが、必ずしも罪深いわけではありません。

例えば、あなたは人から言われた言葉が気になり、ずっとそのことをくよくよと考えて暗くなっています。そして考えれば考えるほど、怒りが燃えてきたりします。これは魂が肥大している状態であり、霊が弱く信仰がありません。このようなとき、あなたは自分の「古い私」に言わなければならない。「キリストを持たない『古い私』よ、あなたはキリストと共に十字架に付けられたのではないのか? 『古い私』よ、十字架に帰りなさい。私は魂のさ迷いから離れ、霊を活用し、信仰によって、キリストを内住させる『新しい私』を生きます。おー主イエスよ、あなたに感謝、賛美します」。若い時から「古い私」の魂のさ迷いからできるだけ早く出てくることを学び、訓練してください。このような訓練をする上で、ヘブル第4章は次のように言っています。

ヘブル4:11 こういうわけで、その安息へ入るように、努め励もうではありませんか。不従順の同じ例に倣って、だれも倒れることのないようにしましょう。12 なぜなら神の言葉は生きていて効力があり、どんなもろ刃の剣よりも鋭く、魂と霊、関節と骨髄を切り離すまでに刺し通して、心の思考と意図を識別することができるからです。

「古い私」は「魂の人」であり、その中に生き続けると、やがて倒れます。この「魂の人」から出て、霊を活用し、霊に従って生きるために、あなたは必ず神の恒常的な言葉(ロゴス)を祈り読みし、神の即時的な言葉(レーマ)に触れて下さい。このレーマが神の生ける言葉であり、あなたの霊と魂を識別することができるのです。ハレルヤ!

経験②: 霊的になればなるほど、ますます正常に、また人間的になる

キリストにある信者として、私たちはもはや古い人ではありません。私たちは新しい人です。…神は私たちの創造された人性を投げ捨てたのではなく、この人性を再生されました。確かに、キリストは墮落した古い人を十字架につけ、終わらせましたが、彼はまた神の創造した人性を神の命をもって再生し、発芽させられたのです。

復活は十字架に続きます。復活がなければ、再生はあり得ません。キリストが十字架上で終結させたものは、私たちの墮落した人性、古い人でしたが、神の創造した人性は復活させられる必要がありました。復活において、神聖な要素は再生された人性を引き上げました。今や、私たちは再生されて新しい人となった後も、依然として私たちの人性を持っていますが、それは復活させられ再生された人性です。

これは信者にとって理解しにくい事柄ですので、私たちは古い人と新しい人に対する明解なビジョンを必要とします。一方で、私たちの古い、墮落した人性はキリストの十字架で終わらされました。また一方で、神が創造された人性はキリストの復活を通して、発芽し、再生されました。…今日、私たちが持っている人性は古い、終わらされた、墮落した人性ではなく、新しい、発芽し、引き上げられた人性です。

もし私たちがガラテヤ人への手紙第2章20節の最初の部分にだけ注意を払うのでしたら、パウロが彼の人性は完全に終わらされてしまったと言っていると考えたかもしれません。なぜなら、彼は「生きているのはもはや私ではありません。キリストが私の中に生きておられるのです」と言っているからです。しかし、キリストはいったいどこで、だれの中に生きておられるのでしょうか? パウロはこの質問に対して、「キリストが私の中に生きておられる」と答えています。さらに、彼はすぐに、こう続けて言っています、「そして私は今、肉体の中で生きているその命を…信仰の中で生きます」。最初、パウロは「私は…十字架につけられました。生きているのはもはや私ではありません」と言った後に、「私は…生きる」と言っています。十字架につけられた「私」は、古い「私」であり、生きる「私」は、新しい、再生された「私」、再生された人性です。

そうです、私たちは主を風、雲、火、こはく金として経験しますが、この経験の結果は、私たちが人の顔を帯びるということです。生き物として、私たちは御使いではなく、非常に人間的です。事実、私たちは霊的になればなるほど、ますます正常に、また人間的になります。私たちはキリストを命として持てば持つほど、ますます私たちは人の顔を帯びるようになります。書簡において、私たちは使徒たちによって、正常な人になるよう、特にどのようにして正常な夫、妻、親となるかを教えられています。神の救いは彼の現れ、行動、行政のために、私たちを正しい人にならせます。

在職青年編

ビジネス・パースンであるあなたは、業務遂行があなたの知識や才能だけでなく、あなたの人間性に依存していることを認識してください。聖書はあなたが正常な人間性を持った人であるように、特に正常な夫、妻、親、子供、従業員であるように教えています。正常な夫あるいは妻でなければ、正常な人間性に欠けているので、正常なビジネス・パースンになることはできません。例えば、あなたは能力の高い人であっても、人と調和したり、人を思いやったりすることができないのであれば、誰もあなたと一緒に仕事をしたいと思わないでしょう。そうであればあなたは人からの協力を得ることができないので、あなたは成功したビジネス・パースンになることはできません。正常な人間性はイエスの人性から来ます。完全で完璧な人間性はイエスの人性にしかありません。あなたは心を主に開き、主の御名を呼び求め、主と愛情に満ちた親密で、個人的な交わりをすればするほど、イエスの人性を食べ、イエスの人間性で構成されることができます。

兄弟の証し: 最近、私の部下の一人が海外に転勤になりました。その人は転勤する直前に、次のことを私と私のリーダーシップ・チームに証しました、「私の上司は私を見捨てたり、裏切ったりすることは一度もありませんでした。私にとっての大きな問題や困難を、私の上司は自分自身の問題や困難と考えて、私の見えないところで働き、解決してくださいました。有能な管理者はどのように振舞うべきかを身をもって示してくださいました。本当に感謝します」。私のイエスの人性から来る信頼感が、私の部下を動機付けて、一生懸命業務に取り組ませることができたのです。

115 主を賛美する — 彼を高く揚げる

1. 見よや、天上に座すイエス！ 主キリストの御座を！
ひととしてたかめられ、 えいこう、尊貴受く。
2. ひとのせいしつを着て、 けいかくにより死ぬ、
からだもてよみがえり、 ひととし、昇天する。
3. 主のなかで、かみくだり、 地じょうでひとに住む；
主のなかで、ひとのぼり、 かみとともに住む。
4. 主はかみとひとの調和、 ひとにて、かみしめす；
かみ・ひとなる主にあり、 ひととは栄光を得る。
5. イエスはえいこうを受け、 そのれいとして来る；
イエスの人位とみわざを、 そのれいはしめす。
6. えいこう受けたイエスと、 しょうかいはつらなる；
このイエスのれいにより、 かく肢体は生きる。
7. 見よや、天上に座すひと！ 万ゆうの主の御座を！
それは、すくいぬしイエス、 とわに栄光あれや！

115 赞美主—祂的高举

1. 看哪，耶稣天上坐着！我主基督登宝座！
祂是那人神所高举，荣耀、尊贵已得着。
2. 祂曾穿上人的性情，照神计划且死过，
带着身体从死复活，仍然是人升天坐。
3. 在祂里面神降为卑，神来地上同人处；
在祂里面人升为高，人到天上同神住。
4. 祂是真神与人调和，神在人里被宣告；
祂是真人与神联合，人在神里得荣耀。
5. 从那升天得荣耶稣，降下包罗万有灵；
耶稣身位和祂工作，全由这灵来证明。
6. 和那升天得荣耶稣，今天召会能联合；
藉着这位耶稣的灵，基督肢体能同活。
7. 看哪，一人天上坐着！万有之主在宝座！
这是救主耶稣基督，荣耀、尊贵永得着！

132. Praise of the Lord - His Exaltation

1. Lo! In heaven Jesus sitting,
Christ the Lord is there enthroned;
As the man by God exalted,
With God's glory He is crowned.
2. He hath put on human nature,
Died according to God's plan,
Resurrected with a body,
And ascended as a man.

3. God in Him on earth was humbled,
God with man was domiciled;
Man in Him in heav'n exalted,
Man with God is reconciled.
4. He as God with man is mingled,
God in man is testified;
He as man with God is blended,
Man in God is glorified.
5. From the Glorified in heaven
The inclusive Spirit came;
All of Jesus' work and Person
Doth this Spirit here proclaim.
6. With the Glorified in heaven
Is the Church identified;
By the Spirit of this Jesus
Are His members edified.
7. Lo! A man is now in heaven
As the Lord of all enthroned;
This is Jesus Christ our Savior,
With God's glory ever crowned!